




モンゴルの研究機関と帯広畜産大学とによる 国際共同研究の採択が決定

共に「知」を総合する科学技術協力～2024年度採択結果の発表

国際協力機構（JICA）、科学技術振興機構（JST）、日本医療研究開発機構（AMED）の三者が実施する「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）※」において、今年度、帯広畜産大学の案件が新たに採択されました。

本案件は地球規模の生物資源課題の解決に資するもので、モンゴルの動物検疫システム強化、嬭疫（こうえき）の病態精査と宿主特異性の変異可能性解析、家畜人工繁殖技術を専門とする獣医師の養成、人工授精技術などのウマ繁殖管理・嬭疫対策への利用、並びに関連政府機関・関係組織などに対して嬭疫対策基準を提案することで、モンゴルの嬭疫流行を制御し、撲滅への道を開くことを目的としています。

大学の先生への取材も調整可能ですので、是非ご検討ください。

日本側研究機関	相手国研究機関	事業名	SDGs 項目
帯広畜産大学 井上 昇教授	モンゴル国立生命 科学大学獣医学研 究所	嬭疫撲滅に向けた研究および防 疫基盤の確立 (生物資源領域)	  

<※「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）」とは>

SATREPS は、外務省と文部科学省の支援のもと、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）と JICA が連携して実施し、日本の優れた科学技術と ODA との連携によって、開発途上国との科学技術協力、科学技術外交を推進するプログラムです。環境、カーボンニュートラル、生物資源、防災および感染症といった地球規模課題の解決に向け、課題の解決につながる新たな知見・技術の獲得やイノベーションの創出、さらには開発途上国の自立的な研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築を図ることを目的としています。




【本件に関する問い合わせ先】

JICA ガバナンス・平和構築部 STI・DX 室
TEL 03-5226-8105 e-mail: gpgsd@jica.go.jp

生物資源分野

研究領域

「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

採択年度	2024年	研究期間	5年間
研究課題名	媾疫撲滅に向けた研究および防疫基盤の確立	貢献する主なSDGs	  
研究代表機関	帯広畜産大学 原虫病研究センター		
相手国	モンゴル国	主要相手国 研究機関	モンゴル国立生命科学大学獣 医学研究所
研究課題の概要			
<p>本研究は、モンゴルの動物検疫システム強化、媾疫（こうえき）の病態精査と宿主特異性の変異可能性解析、家畜人工繁殖技術を専門とする獣医師の養成、人工授精技術などのウマ繁殖管理・媾疫対策への利用、並びに関連政府機関・関係組織などに対するウマの防疫、繁殖管理および媾疫対策基準の提案を実現することで、モンゴルの媾疫流行を制御し、撲滅への道を開くことを目的としている。具体的な取り組みは以下の4項目である。（1）媾疫の現状、ウマの飼育・繁殖・管理システムを調査し、実態と課題を明確にすること、（2）感染実験などから媾疫のウマ特異性が変化するか否かを明らかにすること、（3）病原トリパノソーマに汚染された媾疫罹患馬由来精子・卵子材料の除染技術を開発すること、（4）家畜人工繁殖技術を専門とする獣医師の養成などの若手人材育成・技術移転を実施し、近代的な動物衛生、繁殖管理および生殖補助獣医療の導入と普及を図ること。</p>			